

事件登録照会表

事件名	損害賠償請求	担当者(主)	遠山金四郎
		担当者(副)	長谷川平蔵

依頼者	(原告)真田幸貴	担当部局		担当者	
		TEL		FAX	
相手方	(被告)江戸幕府大阪奉行所	代理人	銭形法律事務所		
		TEL		FAX	
一審	平成19(ノ)第258号	裁判所	大阪地方裁判所	部係	第12民事部単独A係

No.	日付	種類	OPE
内容			
1	2007.7.1	期限	tooyama
第1回期日準備書面作成			
2	2007.7.2	資料添付	tooyama
図面並びに写真			
3	2007.7.2	資料添付	tooyama
第1回準備書面			
4	2007.7.15	期限	tooyama
第3回弁論準備書面			
5	2007.7.16	記事	tooyama
江戸時代には封建社会に縛られた民衆のはげ口として、遠方の寺社への巡礼、参拝がさかんになった。これは多分に娯楽的な意味を持ち、民衆が旅行するようになった起源とも言われる。中には旅行代理業者や案内業も現れ、寺社の側に歓楽街ができたところもある。また、現在の旅行ガイドブックのような案内書も刊行されている。この遠方への巡礼の背景には、五街道や宿場町の整備、治安の良化などのインフラが整ったことがある。これらの代表的なものには、信州の善光寺参りや伊勢神宮へのお陰参りがある。特にお陰参りは、江戸中期後期、60年周期に爆発的に大多数の参拝者が押し寄せる現象が起き、これは江戸末期のええじゃないかに繋がることとなる。また、江戸末期には、天理教や金光教などの神道系の新宗教が現れている。			
江戸時代は経済的にはめまぐるしい発展を遂げ、その資本の蓄積は、明治維新以降の経済発展の原動力となる。各地の諸大名は、江戸藩邸や参勤交代の費用を捻出するために自藩産出の米や魚農産物を大坂に売ったため、大坂は諸大名の蔵屋敷が置かれ全国の特産品が並び、盛況を活した。また、参勤交代やお手伝い普請で多くの諸大名が街道筋の宿屋・旅			
...			
6	2007.8.15	期限	tooyama
意思表示確認どうなったのかな			